

横浜災害ボランティアネットワーク会議 令和元年度事業報告

【横浜災害ボランティアネットワーク会議基本方針】

- 1) 横浜市災害ボランティア支援センターの組織体制の構築
- 2) 区災害ボランティアネットワークの支援
- 3) 各機関との連携強化
- 4) 災害時のボランティア活動啓発
- 5) 災害情報等の収集・提供及び情報システムの構築
- 6) 横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

【令和元年度実施事業】

1) 横浜市災害ボランティア支援センター（以下、市災ボラ支援センター）の組織体制の構築

①災害ボランティアセンター訓練の実施

市および各区の災害ボランティアセンター運営者を対象に、ICT（情報通信技術）を活用した情報発信・共有について、訓練を行いました。災害時のSNSの活用の利点やこれまでの実際の活用の例など、迅速な情報発信や活用にあたっての留意点などを学びました。

※Aブロックとの合同開催

日 時	令和元年11月21日（木） 18:30～20:30
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室 8F
講 師	内田 理氏 (東海大学 情報理工学部 情報科学科 教授)
参加者数	37名
内 容	「SNSツイッターを利用した【DITS・DIMS】情報システム」 ・災害時のSNS活用について ・演習「DITS・DIMSの体験」

②市域団体との連携

本会議の団体会員の中で、日頃より市域で活動している団体との連携に向けて取組みを行いました。取組みの内容は、本会議会員の市域団体に期待する役割についての検討や、市域団体同士の連携について、市域連絡会の実施に向けた検討等です。

市域連絡会については、令和2年3月3日（火）に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、次年度に延期となりました。

2) 区災害ボランティアネットワーク（以下、区災ボラネット）の支援

①区災ボラネット連絡会の開催

災害時における各区災ボラネットの横のつながりをつくることを目的に、市内18区を近隣区ごとにA～Dの4ブロックに分けて年2～3回、連携や課題の共有等を行いました。

Aブロック：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

第1回 日時：令和元年6月26日（水）18:45～

場所：鶴見区福祉保健活動拠点

内容：各区令和元年度事業計画について 他

第2回 日時：令和元年11月21日（木）18:30～

場所：横浜市健康福祉総合センター

内容：SNSツイッターを利用した【DITS・DIMS】情報システムについて

※研修会（横浜災害ボランティアネットワーク会議合同研修）

Bブロック：港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区

第1回 日時：令和元年6月18日（火）18:30～

場所：港南中央地域ケアプラザ 多目的ホール

内容：災害ボランティアセンター事務局間の連携について

第2回 日時：令和元年10月15日（火）18:30～

場所：磯子区福祉保健活動拠点

内容：発災時における各区災害ボランティアセンターの連携シミュレーション

第3回 日時：令和2年2月18日（火）18:30～

場所：金沢区福祉保健活動拠点

内容：DITSの紹介、ボランティアニーズの把握の仕方

Cブロック：保土ケ谷区、旭区、泉区、瀬谷区

第1回 日時：令和元年6月14日（金）14:00～

場所：泉区福祉保健活動拠点

内容：災害時のボランティア登録のための手続き等の現状について

第2回 日時：令和元年11月16日（土）15:00～

場所：せやまる・ふれあい館 多目的研修室

内容：西日本豪雨災害でのボランティア活動について

Dブロック：港北区、緑区、青葉区、都筑区

第1回 日時：令和元年3月3日（火）14:00～

場所：都筑区福祉保健活動拠点

内容：台風19号災害における災害ボランティアセンターの運営と他団体等との連携について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

②ブロック別連絡会助成金の実施

市内18区をA～Dの4ブロックに分けたブロック別連絡会に対し、連絡会の円滑な運営と連携・啓発活動の促進のため、申請ブロックに対し助成を行いました。

申請件数 2件、助成件数 2件 (19,500円)

ア)ブロック：Bブロック

日時：令和2年2月18日（火）18:30～20:00

場所：金沢区福祉保健活動拠点

内容：DITSの紹介、ボランティアニーズの把握の仕方(意見交換)、各区の状況について

イ)ブロック：Cブロック

日時：令和元年11月16日（土）15:00～16:30

場所：瀬谷区福祉保健活動拠点

内容：西日本豪雨災害でのボランティア活動について

③各区災ボラネット活動情報のとりまとめ

各区の災ボラネットの情報について、運営委員会等でとりまとめ共有を行うとともに、会報「NEWS LETTER」やホームページ等で発信を行いました。

3)各機関との連携強化

①市及び区での協定書・マニュアルの整備や資機材等の配備の円滑な促進

平成30年度に修正された、横浜市防災計画「風水害等対策編」について、令和元年度会員研修においてテーマとして取り上げ、会員間の共通理解を深め、連携強化に努める一助としました。また、災害時の円滑な連絡体制の構築および平時からの準備のため横浜市・横浜市社協と定期的な連絡会を行いました。

②市域を越えた連携の強化

市域を越えた団体との連携や情報交換等を目的として、会議やイベント等での連携をすすめました。

○神奈川県災害ボランティアネットワーク理事会・運営委員会に参画

開催回数：理事会 3回、運営委員会 10回（拡大運営委員会含む）

場所：神奈川県民センター

内容：課題別委員会について、各ブロック別研修会について、各種防災訓練について、新規加入団体について、他団体との連携について 等

○内閣府主催「災害時における三者連携・協働に向けた研修会」に参加

日程：令和元年12月3日（火）

場所：かながわ県民センター

4) 災害時のボランティア活動の普及啓発

① 会員向け研修会の開催

令和元年度総会開催前に、会員向け研修会を開催しました。

日 時	令和元年6月27日(木) 18:30~19:45
参加者数	79名
講 師	横浜市総務局危機管理室 防災企画課 担当係長 小林 栄治氏
内 容	横浜市防災計画「風水害等対策編」の修正について ・修正の経過 ・修正内容 ・ボランティアとの協力体制 等

② 災害ボランティア啓発研修

災ボラセンターの運営に関わる方(行政・社協・区災ボラネット・市災ボラ会員等)や関心のある方を対象に、啓発研修を企画しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、次年度に延期となりました。

日 時	令和2年2月28日(金) 18:30~20:30
講 師	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋氏
テ ー マ	災害時のネットワーク連携について～常総市の水害対応に学ぶ～

③ 震災対策技術展への参加

「震災対策技術展」横浜実行委員会主催の震災対策技術展に参加し、横浜災害ボランティアネットワーク会議および各区災害ボランティアネットワークの活動について啓発を行いました。

日 程	令和2年2月6日(木)、7日(金)
会 場	パシフィコ横浜 展示ホール
内 容	展示(活動紹介および活動報告)

④ 災害ボランティア活動参加支援事業

本会議会員が、災害時に災害ボランティアコーディネーターとして活動するために必要な知識や経験を重ねるため、他都市における被災地支援事業(災害ボランティアバス)に参加するための参加費助成制度を創設しました。

5) 災害情報等の収集・提供及び情報システムの構築

① 会報「NEWS LETTER」の発行

横浜市との協働事業として、会報を発行しました。

装丁：A4版 2色 4ページ

発行部数：2,500部×2回

発行時期：令和元年9月(No.64)、平成元年12月(No.65)

内容：

- 【No.64】・令和元年度総会および会員向け研修会(報告)
- ・実行委員会の班編成について(報告)

- ・横浜市災害ボランティア支援センターの役割（報告）
- ・会員紹介
- 【No. 65】・災害ボランティアコーディネートスキルアップ研修会（報告）
- ・栃木県鹿沼市へのボランティアバス（報告）
- ・ブロック別連絡会（報告）
- ・南区災害ボランティアネットワーク障がい理解の研修（報告）
- ・会員紹介

②横浜災害ボランティアネットワーク会議ホームページの運営

横浜災害ボランティアネットワーク会議ホームページにて、災害ボランティアに関する研修や台風19号による災害関連情報、運営委員会の議事録などの情報提供を行いました。

更新回数：13回

6) 横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

運営委員会および実行委員会において、横浜災害ボランティアネットワーク会議が災害時に有効に活動できる組織になるべく、区災ボラネットと市災ボラネットとの役割等について検討を行いました。

7) 被災地支援活動

①物資支援

横浜市社会福祉協議会の善意銀行より助成を受けて、台風15号の被災地へ物資支援を行いました。

ア) 千葉県南房総市災害ボランティアセンターへの物品

- 土嚢袋（UVブラックマクラ土嚢耐候5年タイプ）5枚入り×140セット
- マイカ線（幅10mm×長さ500メートル）×12本
- 防水テープ（片面接着 幅50mm×長さ20m巻）×64本

イ) 金沢区幸浦・福浦工業団地でのボランティア活動への物品

- スコップ 5本
- ゴム手袋 17人分
- 軍手 24人分
- マスク 100人分
- 防塵マスク 33人分

ウ) 横浜市社会福祉協議会善意銀行からの助成額

100,000円（経費合計：206,330円）

②ボランティアバスの運行

台風19号により大きな被害を受けた栃木県鹿沼市への支援活動の一環として、また、横浜での災害対策の参考とするため、ボランティアバスを運行しました。

日	時	令和元年11月14日(木) 6:30集合 19:20帰着・解散 ※事前説明会：11月8日(金) 19時00分～20時00分
---	---	--

活動場所	栃木県鹿沼市立粕尾小学校
参加者	計28名 ※当日欠席1名 区災ボラ7名、一般18名、 事務局3名※市民活動支援課2名、二ツ橋地域ケアプラザ1名
活動内容	小学校の裏山からの土砂災害の対応。 側溝の泥の掻き出し、階段上から階段下の校庭への泥の撤去など。

8) その他

①令和元年度 総会

日時	令和元年6月27日(木) 18:30~21:00
会場	横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室8A・8B
参加者	参加会員44組 (委任状:21組)
内容	第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度決算報告について 監事監査報告 第3号議案 横浜災害ボランティアネットワーク会議基本方針について 第4号議案 令和元年度事業計画(案)について 第5号議案 令和元年度度収支予算(案)について 第6号議案 運営委員について

②横浜災害ボランティアネットワーク会議 運営委員会・実行委員会

委員: 計23団体(別紙 運営委員一覧参照)
事務局: 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
オブザーバー: 横浜市市民局市民活動支援課

ア) 運営委員会

日程と 主な議題	第1回 平成31年4月15日(月) ・平成31年度総会及び会員向け研修会について ・平成31年度事業計画および平成31年度予算について 等
	第2回 令和元年5月20日(月) ・令和元年度総会及び会員向け研修会について ・平成30年度事業報告および平成30年度決算について ・令和元年度事業計画および令和元年度予算について 等
	第3回 令和元年6月17日(月) ・令和元年度総会及び会員向け研修会について ・実行委員会について 等
	第4回 令和元年7月22日(月) ※臨時開催 ・研修依頼への対応について ・実行委員会の報告 等

	<p>第5回 令和元年9月12日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号についての情報共有と対応について ・令和元年度の研修の企画について ・実行委員会の報告 等 <p>第6回 令和元年10月21日（月） ※臨時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風19号についての情報共有と対応について ・災害ボランティア活動参加者への支援について ・今後検討していくべき課題について 等 <p>第7回 令和元年11月11日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号および19号の被災地支援について ・今後検討していくべき課題について ・実行委員会報告 等 <p>第8回 令和2年1月22日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・イベントへの協力について ・実行委員会の報告 等 <p>第9回 令和2年2月19日（水） ※臨時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに伴う年度内の事業予定について ・実行委員会の持ち方について 等 <p>※第10回（令和2年3月17日（火））については、 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。</p>
--	--

イ) 実行委員会

班構成	市域連絡会班、広報班、区災ボラ連携班
主な内容	<p>【市域連絡会班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域団体会員との連携について ・令和元年度市域連絡会の企画について ・令和元年度災害ボランティア啓発研修について <p>【広報班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「NEWS LETTER」について ・SNS（Facebook等）の活用について <p>【区災ボラ連携班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度災害ボランティア啓発研修について ・令和2年度会員向け研修会の企画について ・各区災ボラの連携・支援について

8) 会員状況

（令和2年3月31日現在）

個人会員	12	人
団体会員	80	団体
合計会員数	92	組

*平成30年度末会員数：97組

横浜災害ボランティアネットワーク会議 運営委員(団体)

令和元年度

所属	氏名
公益財団法人横浜YMCA	山添 訓
ガールスカウト横浜市連絡協議会	外山 薫・梅田 啓子
神奈川県生活協同組合連合会	丸山 善弘
公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会	井上 彰
ボーイスカウト横浜市連合会	中上 健
鶴見区災害ボランティアネットワーク	河西 英彦
南区災害ボランティアネットワーク	高松 清美・山片 悟
港南区災害ボランティアネットワーク	井出 恵章
保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	川名 秀明
磯子区災害ボランティアネットワーク	和田 實
金沢区災害ボランティアネットワーク	深浦 茂晃
港北区災害ボランティア連絡会	宇田川 規夫
とつか災害救援活動ネットワーク	宮川 靖司
泉区災害ボランティア連絡会	乾 英昭
瀬谷区災害ボランティアネットワーク	篠 康房
認定NPO法人かながわ311ネットワーク	伊藤 朋子
神奈川災害ボランティアステーション	鈴木 幸一
横浜市子ども会連絡協議会	福永 浩世
横浜市スポーツ推進員連絡協議会	後藤 薫
青葉区災害ボランティア連絡会	竹下 瞭・小池 由美
横浜栄・防災ボランティアネットワーク	早福 修二・竹内 康生
認定NPO法人市民セクターよこはま	吉原 明香
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会	※事務局

順不同・敬称略

事務局：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課